

のんびり温泉連泊 パート7

志賀高原 志賀山と横手山

実施日 2010年8月29日(日)～31日(火)
天候 晴れ

リーダー 横山 玲子 サブリーダー 一柳 昭
参加者 上野キヨ、横山玲子、金丸徐子、張越隆、一柳昭、伊東勝昭、鈴木恵美子、伊藤久雄、宇野輝代
計9名

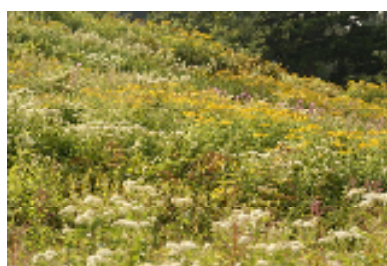
費用 ツアー代 16,980円、リフト 270円、横手山ツアー代 1,000円

計 18,250円
タイム 29日 硯川ホテル(13:35)熊の湯スキー場散策(14:15～15:30)
30日 硯川ホテル発(8:25 リフト)渋池(8:42)志賀山登山口(9:05 A・B班分離)
A班 志賀山(9:52～10:05)奥志賀山(10:30 B班と合流)
B班 四十八池(9:30)奥志賀山登山口(9:46 B・C班分離)奥志賀山(10:20)志賀神社(10:34)A班と合流奥志賀山下山(10:55)四十八池(11:20～11:55 昼食)大沼池(12:46～13:20)四十八池(14:25～14:40)硯川ホテル(15:50)
C班 大沼池(10:30～12:20 昼食)大沼池入口バス停(14:00 バス蓮池乗換)硯川ホテル(15:10)
31日 硯川ホテル(9:00 バス)のぞき(9:10 スカイレーター・リフト)横手山(9:25 A・B班分離)
A班 のぞき(9:55)草津峠(11:14)硯川ホテル(12:10)
B班 横手山(9:25)のぞき(10:45)硯川ホテル(11:10)硯川ホテル(13:20 発ツアーバス)新宿(18:30)

ほぼ満席のツアーのバスにゆられ猛暑の東京を出て行く。途中話題の八ッ場ダムの工事現場を見て、草津白根の火山を眺めとすっかり観光気分。

横手山の渋峠を過ぎるともう下に熊の湯温泉硯川ホテルが見えてきた。

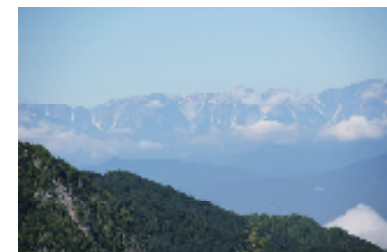
ホテルの後はすぐスキー場になっていて急斜面のゲレンデを登って行くと一面お花畑、



ヤナギラン、リンドウ、ヒヨドリ、ヤマハハコ、アキノキリンソウ、ハンゴンソウ、等々、暫し

花に埋もれて楽しむ。明日登る志賀山、電波塔のある横手山をしっかりと確認してホテルの温泉に。

30日快晴 今日行程は少々長いのでホテル前のリフトを利用し前山山頂へ、北アルプスを遠望し横手山からぐるりと志賀の山々を眺めてから志賀山を目指して歩き始める。



渋池、志賀山登山口まではほぼ平ら、ここで2班に別れA班(一柳、上野、伊藤、

伊東、宇野)は志賀山を目指す。

B班(横山、張、鈴木、金丸)は四十八池へと進む。樹林の中を緩やかに登ると工事現場、四十八池のあずま家の横に立派な公衆トイレ



レ建設中だった。標高 1880 m に大小様々な地塘が点在する四十八池湿原は志賀山をバックに静寂の中に広がっている。A班は今どの辺りかな見上げながら木道を歩くと鳥居が現れた。

ここが大沼池と奥志賀山への分岐ここでまた2班に別れB班（横山、張、鈴木）は奥志賀山を目指しC班（金丸）は直接大沼池へと下る。

いきなり急登になり腕を骨折してまだリハビリ中の鈴木さんには少々ハードだったかもしれないが自分が登るのが精一杯で人様の面倒を見る余裕のないリーダーだった。

A班と奥志賀山で落ち合うことにしていたがB班が先に着いたみたい。リュックを置いてこの先の志賀神社まで行く。真



下にスカイブルーの大沼池が見え東館山辺りも展望できた。

ここから合流したA班と一緒に

下山、四十八池の中の木道広場で昼食、エネルギーを補給しリュックも軽くなったが大沼池までの下りは長く段々歩きに愚痴がこぼれる。

辿り着いた大沼池、太陽が雲に隠れ涼しい。池の色も暗くなった。前方に先ほど登った裏志賀山が見える。山に囲まれた湖畔に立つと一段と山奥に来た感が強くなった。

さあ、気合を入れて下った坂を登り返し温泉まで頑張ってください。

もう一度四十八池から志賀山を仰ぎ、往路を行く。前山からの下りはリフ



ト無し、ホテルを見ながら歩いて下る。ホテルに帰ると一足先に帰っていた金丸さんとぼったり

り。3班3様に皆さん志賀の山を楽しまれたようでした。

30日 A班(志賀山登山口~志賀山~裏志賀山)

志賀山登山口でB班と別れ志賀山へ向かうが両側の竹ヤブが雨上がりのような朝露で全員ズボンがビショぬれになる。

間もなく岩場の急な登りになり、これは3星どころか4星だと言う声が出る。

志賀山々頂からは急な坂を下り、また登って

B班の待つ裏志賀山に着く。志賀高原はスキー場の名所だけあってリフトやゴンドラが縦横



に建っていて夏場も動いているコースがいくつかありそれに添って歩くコースも沢山あるので

各人に合ったルートを選ぶことができ、とても良かったです。天気にも恵まれ初秋の花々を賞で高原の秋を満喫することができました。

31日 今日快晴、9時にホテルの前から「横手山ツアー 1000円スカイレーター・リ

フト往復券付き」に乗り込む。満席だ。のぞきで下車しスカイレーター・リフトと乗り継いで一気に 2305 m の横手山山頂へ。



ここは昨日の山と違い観光客でごった返していた。

ここでまた 2 班に別れる。A 班は歩いて硯川ホテルに下る（横山、上野、鈴木、宇野、伊藤、） B 班はお迎えのバスでホテルに帰る（一柳、金丸、張、伊東）

山頂から一番厳しい急坂 200 m をまたリフト・スカイレーターで下り、のぞきから歩く。ハイキングコースとして歩きこまれた道だが樹林の中結構アップダウンがあった。草津峠を過ぎゲレンデに出て一気に視界がひらけ真下にホテルを見ながら下る。

帰りのバスの時間があるので行ける人は



ドンドン先に行ってもらおう。

硯川ホテルの左の斜面は初日登った熊の湯ス

キー場、右側は昨日乗った前山へのリフト、そして今は東側の横手山スキー場とすべてのスキー場を歩いたことになった。

皆さんの後姿を見ながら私は 3 日間志賀高原を存分に堪能したな～と満足感を味わいながら下りました。体調に合わせたコースが設定出来、無理することなく各

々のペースで山を高原を温泉を楽しむことが出来たのではないのでしょうか。

C 班（奥志賀山登山口～大沼池～池尻～大沼林道～奥志賀スーパー林道～バス停）

四十八池奥志賀山登山口で B 班と別れ一人大沼池を目指します。時折木の枝隠れに見える池、小鳥のサエズリに癒されながら大沼池に着く。ベンチには 2 人位しかいない。とても静か。池のほつりを歩いてみる。酸性度が強く魚が住めない、植物も少ない（池に中）と聞いていたのでなるほどと思う。でもとてもキレイ！コバルトブルーの大きな湖。木陰のベンチに腰をかけ皆の来るのを待つことにする。

気がつく後ろに人がいっぱい。何時の間にと思い人の良さそうな人に「8 人位のパーティに逢いませんでしたか？」「そんなパーティには逢ってない」との事。早めの昼ごはんにする。もう少し待ってみよう。

12 時 20 分折り返してもと思いバス停を目指す。左下に大沼を見ながら 30 分ほどで湖尻に着く。神秘的な色と静まり返った水面ともここでお別れです。

案内板を見て林道にでる。横湯川を友にして 30 分位でバス停に着く。

9 月 31 日 横手山

バスで皆と一緒に「のぞき」まで行く。動く歩道（スカイレーター）と横手山リフトを乗り継いで山頂。下りは A 班歩き組と別れる。お茶を飲み格別。山頂一周の人、展望を楽しむ人、それぞれに 360 度のパノラマを楽しんで帰ってきました。とても楽しい 3 日間でした。

（記・横山 玲子）

（30 日 A 班 記・宇野 輝代）

（C 班 記・金丸 徐子）